



## 予防接種について



赤ちゃんが決められた回数の予防接種を受けた場合、赤ちゃんはその病気に対する十分な抵抗力が得られます。これが「免疫」です。



### 予防接種（ワクチンを受けること）をすれば

#### その病気にはかからないの？

ウイルスや細菌に一度感染すると身体の中に、その病気に対する抵抗力（免疫）がついて、この記憶は身体の中に長く残ります。このため、感染症の中には「一度かかると二度とかからない」といわれているものがあります。（ただし例外として、インフルエンザなど、毎年少しずつ性質を変化させる病原体による病気は、一生の間に何度か、かかることがあります。）

通常は、決められた回数の予防接種を受ければ、多くの赤ちゃんはその病気にかからないか、かかっても軽くすみます。

なかには、免疫がなくなって、大人になってから病気にかかる人がごくわずかにいます。

大人になってかかると大きな問題になる代表例は、妊婦さんが風疹にかかる場合です。目や耳などに障害のある赤ちゃんが生まれやすいことがわかっており、日本でもまだ発症例が報告されています。



### 予防接種はすぐ効くのですか？

ワクチンの種類や体質などによって違いますが、十分な免疫ができるのはワクチンを接種して2週間から1ヶ月ぐらいかかると考えて下さい。

海外で生活することになった場合は、出国前に必要な予防接種を済ませましょう。



### 予防接種は受けなければならないの？

大事な赤ちゃんを、感染症やそれに伴う合併症および後遺症などから守るのは保護者のやくめです。しかし自分で気を付けることが難しく、知らず知らずにかかってしまっているのが感染症の怖いところです。

予防接種を受けることは最終的には個人の選択になっていますので、こわい感染症から赤ちゃんを守るために、大人がしっかりと予防接種や感染症について理解し、医師と相談して納得のいく予防接種を受けましょう。

国や自治体がすすめる予防接種は特に大切なものだと認識しておきましょう。

参考：日本ワクチン産業協会ホームページ



### お知らせ 平成30年度MRワクチンII期対象者

平成24年4月2日～平成25年4月1日生まれの方です

（就学前の1年間＝年長さんの年度H30/4/1～H31/3/30までの間に接種しましょう）

